

市民の目線を取り入れた行政評価

市では、総合計画に基づく事業を対象に、その目的や目指すべき成果の達成度を検証し改善につなげるため、行政評価を実施しています。本市の特長として、評価対象事業の全てにおいて市民の目線を取り入れた外部評価を実施しています。

■問／行政経営課 ☎535-1138

総合評価の結果		件数
拡充	対象や事業費などを拡充して成果向上が必要と判断されるもの。	6
継続	改善を行っていくことで事業の効果をより高めつつ、対象や事業費などは同規模で継続していくものと判断されるもの。	53
縮小	必要性や成果が低下しており、事業内容などの改善を行いつつも、今後対象や事業費などを縮小すべきと判断されるもの。	1
廃止	市民ニーズの低下や社会環境の変化などから、事業そのものの目的が終了したと判断されるもの。	0
終了	時限的な事業で、時期が到来したことにより終了したもの。	0

※評価結果は事業内容の改善や予算編成に活用し、市民サービスの向上につなげます。

Q.何を評価するの？

A.市総合計画に基づき平成28年度に実施した事業のうち今年度は60事業を評価しました。

Q.評価の方法は？

A.次の3段階で評価しました。

- 1 担当課による評価
- 2 有識者からなる行政改革推進委員会委員10人と市行政改革アドバイザーによる外部評価
- 3 ①と②の内容を踏まえ市としての最終的な方向性をまとめた総合評価

Q.評価結果の詳細はどこで見れるの？

A.行政経営課、各支所・学習センターに備え付けの冊子、または市ホームページで閲覧できます。

福島市 行政評価 検索



評価対象事業 評価結果一覧

No.	事業名	総合評価	No.	事業名	総合評価
1	市政だより等作成事業	継続	31	風評対策事業	継続
2	2020年東京オリンピック・パラリンピック誘致実施事業	拡充	32	ももりんカフェ支援事業	継続
3	地域の個性を生かしたまちづくり計画推進事業	継続	33	笑顔つなぐまち交流事業	縮小
4	男女共同参画計画推進事業	継続	34	市民活動活性化支援事業	継続
5	女性が輝くまちづくり推進事業	継続	35	地域コミュニティ支援事業	継続
6	地域ポータルサイト運営支援事業	継続	36	都市間交流推進事業	継続
7	介護資格取得支援事業	継続	37	国際交流推進事業	継続
8	若年者就職支援事業	継続	38	ずっと福島市応援プロジェクト	継続
9	未就職者就職活動支援事業	継続	39	定住・二地域居住促進事業	拡充
10	まちなか周遊バス運行事業	継続	40	出合いの場創出事業	拡充
11	中小企業振興助成事業	継続	41	地域防災力向上事業	継続
12	新規創業者等支援事業	継続	42	ふくしま環境フェスタ開催事業	継続
13	商売力向上対策事業	継続	43	集団資源回収事業	継続
14	働く女性応援事業	継続	44	ふるさと除染実施事業	継続
15	商店街等活性化イベント推進事業	継続	45	こんにちは赤ちゃん事業	継続
16	企業立地促進事業	継続	46	こころのケア事業	継続
17	展示会出展・販路拡大支援事業(産業振興基金事業)	継続	47	放射線と市民の健康講座開催事業	継続
18	産学官連携支援事業(産業振興基金事業)	継続	48	青少年健全育成事業	継続
19	産学共同研究等支援事業(産業振興基金事業)	継続	49	ファミリーサポート事業	継続
20	企業間連携推進事業(産業振興基金事業)	継続	50	放課後児童健全育成事業	拡充
21	医療連携推進事業(産業振興基金事業)	継続	51	路線バス等高齢者利用促進事業	継続
22	市民サポーターと協働で企画運営するA・O・Z(アオウゼ)事業	継続	52	ふくしま花のまちづくり事業	継続
23	スポーツホームタウンにぎわい創出事業	継続	53	ふくしま・ふれあい・夢ぶらん事業	継続
24	観光客誘致事業	継続	54	中学生ドリームアップ事業	継続
25	広域観光連携事業	拡充	55	世界に羽ばたくふくしまっ子育成事業	継続
26	観光宣伝事業	継続	56	古閑裕而音楽祭事業	継続
27	ふくしま元気・ふるさと応援事業	継続	57	宮畑遺跡活用事業(じょーもびあ遺跡の案内人事業、じょーもびあ活用推進協議会事業)	継続
28	新規就農者の確保と育成事業	継続	58	旧廣瀬座事業	継続
29	農業の中心となる担い手の育成	継続	59	読書活動推進事業	拡充
30	くだものの里フレッシュアップ事業	継続	60	ペットボトル「ふくしまの水」製作・活用事業	継続

10月は3R(スリーアール)推進月間です！

3Rとは以下の3つのアルファベットの頭文字を取ったものです。



- ① Reduce・・・リデュース(ごみの発生の抑制)
まずは、ごみを減らすこと。いらぬ物は買わない、もらわない。
(例) 不必要な包装は断る、食べきれぬ分だけ買う、マイバッグを使用する など
- ② Reuse・・・リユース(再利用する)
使える物は、丁寧に、大切に、とことん使う。
(例) 不用になった物を人に譲る、別な用途を考える、修理して長く使う など
- ③ Recycle・・・リサイクル(再資源化)
捨てずに、資源としてよみがえらせる。原材料として再生利用する。
(例) クリーンガイドブックを参考にきちんと分別する など
※クリーンガイドブックは、清掃管理課またはお近くの支所・出張所で配布しています。
既に実行している皆さんも、まだしていない皆さんも、もう一度確認して取り組みへのご協力をお願いします。

注射針・注射器は「プラスチック製容器包装」で出さないで！

プラスチック製容器包装は、あぶくまクリーンセンターで不適合物を手作業で取り除いています。しかし最近、注射針・注射器の混入が増えています。そのため、作業員がけがをしたり感染症になる恐れがあります。また、他のプラスチック製容器包装がリサイクルできなくなる可能性もあるため、絶対に入れないようお願いします。

注射針・注射器は、必ず医療機関に返却してください！

3Rを推進して、ごみを減量化・資源化しましょう。皆さんぜひご協力ください！
また最近、資源物のプラスチック製容器包装に注射針や注射器の混入が増えていますので、集積所には出さないようお願いします。
■問／清掃管理課 ☎525-3744

第9回
ごみの減量化に向けて
ごみダイエット講座

ゴミを減らそう！

■とき／11月25日(土)午後1時30分～3時30分(開場：午後0時45分)
■ところ／福島テルサ
■定員／450人(先着順)
■申し込み方法／10月10日(火)午前9時から次のいずれかの方法で
①電話で(受付時間：祝日を除く午前9時～午後8時)
②男女共同参画センターまたは、各支所・出張所、各学習センターなどに備え付けの参加申込書に必要事項を明記の上、持参かファクス、郵送で
③市ホームページメールフォームで
※申し込みは1回につき1人限り。
※手話通訳有り。
※2歳以上未就学のお子さんを対象に託児有り(要事前予約)。
■申込／男女共同参画センター
〒960-8035 本町2-1-6
☎5225-1378
☎5225-1528



NHKクロージングアップ現代三元キャスターの国谷裕子さんが女性が社会でもっと輝くために今伝えたいことなどを、自身の経験を交え講演します。また、福島学院大学YOSAKOIクラブによるオープニング演舞があります。

市制施行100周年記念事業
市男女共生セミナー2017
無料

とき	内容
11月2日(休) 午後1時30分～6時	基調報告、ポスターセッション
11月3日(金・祝) ①午前9時30分～正午 ②午後1時～3時30分	①分科会1・2 ②分科会3・4 テーマごとに、各登壇者からの取り組みの発表や議論など

■問／環境課 ☎525-3742

■申し込み方法／同フォーラムホームページのメールフォームで
URL <http://bit.ly/forum2017>
■申込／同実行委員会(主催者) ☎546-7229

地域などのように再生可能エネルギーが活用できるのか。全国の先進事例を共有・検討し参加者間のネットワークの構築や交流を進めます。

■定員／100人(先着順)
■料金／11月2日(休)のみの参加者は無料。全日程参加者は3千円(資料代)

市制施行100周年記念事業
市民・地域共同発電所
全国フォーラム2017in福島